

分ければ「資源」混ぜれば「ごみ」

▼燃やせるごみ(黄色いごみ袋)の中に資源ごみが混入しています！



黄色いごみ袋の中には、きちんと分別すれば資源になる紙類やプラスチックボトル等がまだまだたくさん入っています。分別することにより、ごみの減量とリサイクルにつながり、「ごみから資源へ」限りある資源の有効利用につながります。 ※缶やビン等の不燃ごみの混入も多く見受けられます。環境センターの安定稼働と負荷軽減のため必ず分別をお願いします。

▼プラスチックボトル収集袋を設置しませんか

4月から全市域で取り組んでいる廃プラスチックボトルの分別収集ですが、区・自治会の収集場所にご協力を得て収集袋の設置を進めています。

収集袋を設置していただければ、ごみ減量対策課へご連絡ください。

また、プラスチックボトル分別の啓発・説明を希望される場合は、左記の学習会と同様にシルバー人材センターへご連絡ください。

『紙ごみ分別学習会』実施しませんか？

市では、紙ごみの分け方・出し方を学ぶ『紙ごみ分別学習会』を実施しています。実践を交えながらの説明で、「紙ごみの分別って、どのようにするの?」「この紙ごみはリサイクルできるの?」といったことも、より詳しく学んでいただけます。ぜひこの機会に分別方法を学び、家庭や事務所で実践していただくことで、ゴミの減量にご協力ください。

- 区・自治会等で実施を希望される方
 高島市シルバー人材センター
 ☎(36) 8191
- 学校・各種団体で実施を希望される方
 高島市エコライフ推進協議会
 ☎(28) 8002



教育委員会の取り組み

文化財課

文化財課では、貴重な文化財や伝統文化が多く存在する高島の特性を踏まえ、市内の文化財の保存・継承および活用に向けた取り組みを行っています。

歴史体験学習会

「たかしま歴史楽」の開催
 その取り組みの1つとして、市民の方を対象に、毎年、市内の文化財について知り、親しんでもらおうと歴史体験学習会「たかしま歴史楽」を開催しています。今年度は市内を通る北国海道をテーマに街道の歴史と周辺の文化財に焦点をあてた体験や学習を行い、多くの方に参加をいただきました。

文化財防火デーの取り組み

また、文化財保護の観点から、市では1月26日の文化財防火デーにあわせて消防訓練を実施しています。文化財防火デーは、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建築である法隆寺の金堂が火災にあり、壁画が焼損したことからにより制定されました。また、この時期は一年で最も火災が発生し

高島市教育委員会
第11回 定例会報告
 11月25日開催

【協議・報告事項】
 (1) 教育委員会事務局職員の人事について
 (2) 平成28年12月補正予算にかかる概要について
 (3) 市内小学校いじめ事案にかかる対応について
 (4) 平成29年3月中学校卒業予定者の第1次進路希望調査について



平成27年度 防火訓練の様子

たかしま歴史楽 現地学習会の様子

「育児ノイローゼ」に

なっていますか？



イライラして感情のコントロールができない。泣いている赤ちゃんの世話ができない。食欲がなくて体重が減る。熟睡できずに疲れが取れない。突然涙が出てくるなど、親になると誰もが1つ2つは経験する症状ですが、このような症状が複数重なる「育児ノイローゼ」の可能性があります。

産後2、3週間が一番危険！

出産の高揚感から徐々に慣れない育児で睡眠不足に陥り、疲労感が抜けなくなるのが産後の2、3週間です。これまでの人生で経験したことのないストレス状態に陥る親も少なくありません。赤ちゃんが寝たら自分も寝るといっても、できる限り赤ちゃんだけを世話する環境を整えましょう。

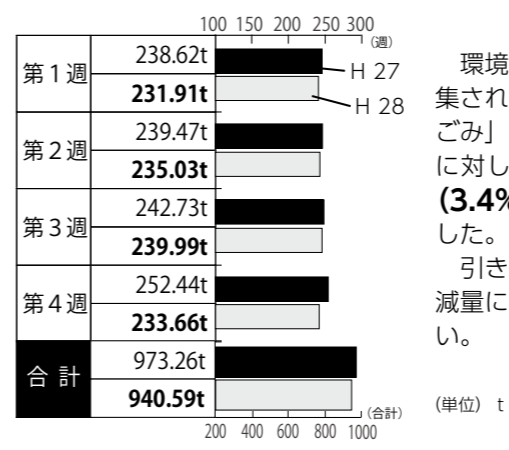
第2のピークは 2、3歳のイヤイヤ期

なんでも自分でやりたいがる。けれどもできずにかんしゃくを起す。□癖は「イヤイヤ」。育児ノイローゼの第2のピークは子どもが2、3歳を迎える時期にやってきます。自分の子と他の子を比べ、発達の不安を抱えて育児ノイローゼ状態になる方もいます。ストレスや不安は、抱え込むと時として子どもに手を出してしまうことにも繋がります。一人で抱え込まず、相談できる相手を作りましょう。

相談先

子ども家庭相談課
 ☎(25) 8517
 または市内各保健センター

11月の燃やせるごみの収集量



環境センターに収集された「燃やせるごみ」は前年度同月に対して**32.67t (3.4%)**減少しました。引き続き、分別や減量にご協力ください。

12月9日までの補助金申請受付状況

- 電気式生ごみ処理機 824件
- コンポスト 442件
- 事業所用(大型)生ごみ処理機..... 24件

グリーン購入ってなに？

(1) 買う前に、本当に必要かどうか考えよう。

(2) 環境への負荷が大きいものを避けよう。

(3) 長く使えるものを選びよう。

(4) 捨てる時に、なるべくごみの出ないものを選びよう。